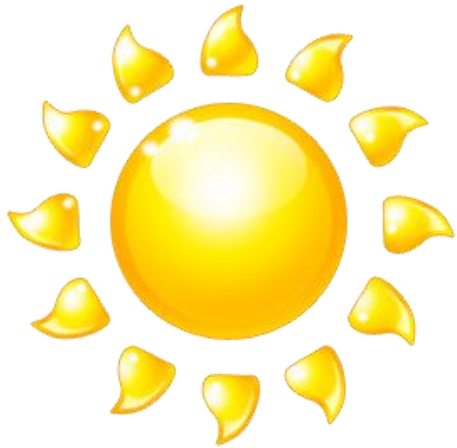




首都大学東京 大学院 社会科学部 社会科学研究科



経営学演習 「企業倫理論」 #1 § オリエンテーション §

2014年4月11日

岡本 享二 (おかもと きょうじ)
ブレーメン・コンサルティング(株)

企業倫理とそのアプローチ

- ☆企業倫理を説くとき宗教、道徳、歴史、学術、哲学的なアプローチが考えられるが、この講座では企業の活動を中心に具体的な事例からその事象の背景を「企業、あるいは個人としての社員」と「企業を取り巻く社会情勢や環境を把握して」問題の本質を理解することで、企業倫理のあり方に迫る。
- ☆「今、なぜ企業倫理が必要なのか」「企業倫理の遂行は企業の成長を損ねるのでは（企業倫理と企業経営は両立するのか）」の問いにも応えて行きたい。
- ☆経営学を学ぶ学生にこそ「部分と全体」について学ぶことのできる、この企業倫理論から多くの示唆を享受していただきたい。

企業倫理論の内容と狙い

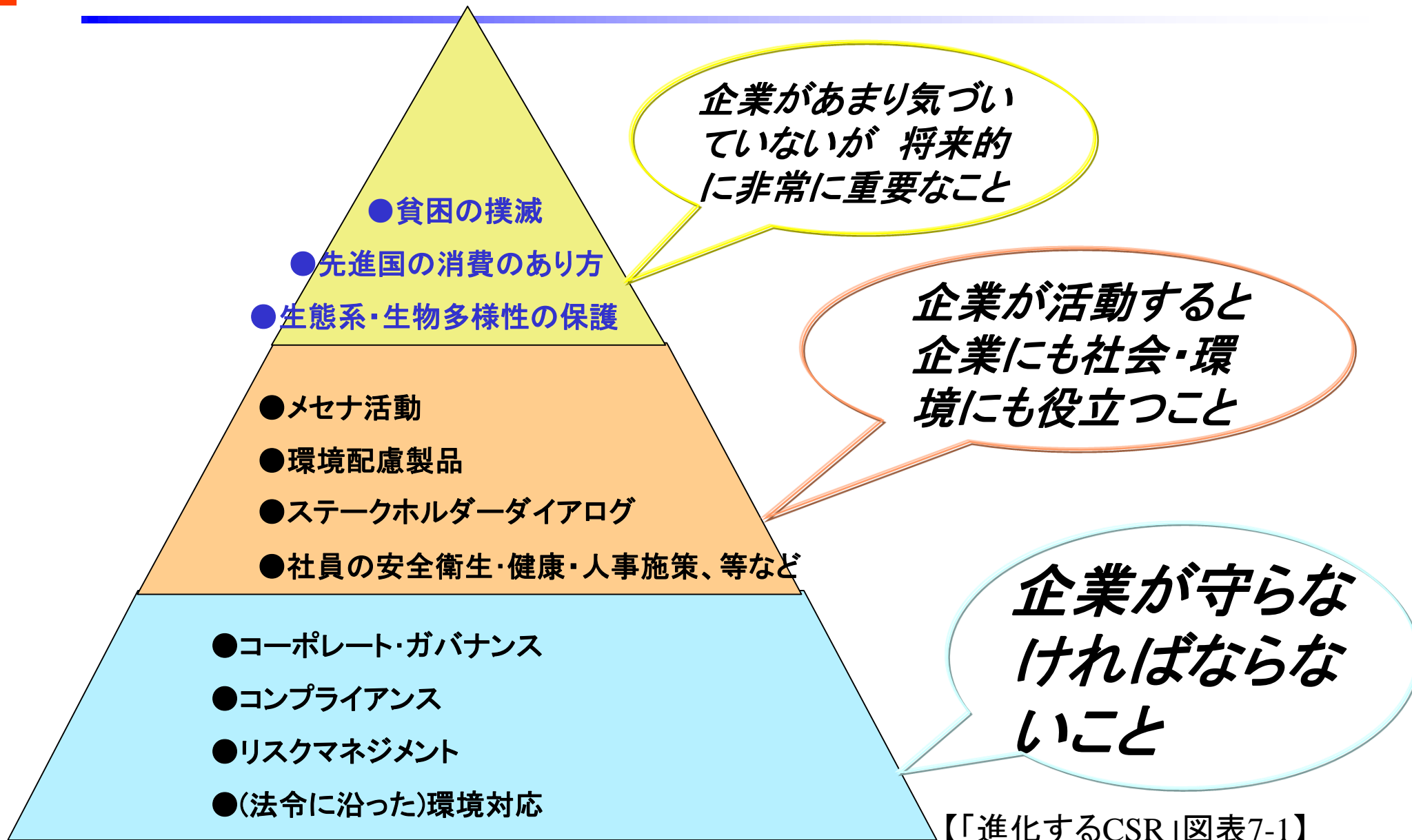
- 3.11東日本大震災とそれに続く福島原発事故は、20世紀の象徴ともいえる『人間と自然との関係のあり方』について、大きな転換の必要性を認識させた。人々の価値観は大きく揺らぎ、既存の社会システムが崩壊したり、大いなる疑問を呈している。
- その中でどのような社会のあり方を求めるのか、『恵み豊かで、かつ、荒ぶる自然との関係』を、どのようにして社会を設計しマネジメントしていくべきか。『人間の自然との関係のあり方』に対して、明確な方向性について示唆を試みる。
- 3.11から3年が経ち、脱原発論が後退している是々非々についても論じる。
- 「気候変動」と同等の人類の課題と考える「遺伝子組み換え」についても、今期から検証テーマに取り上げる。



講義テーマ (問題点と本質)

- ・ 授業概要・企業倫理とは何か(Orientation)
- ・ 最近の企業不祥事とその背景
- ・ 不祥事企業、その後の影響
- ・ 社会の企業に対する見方の変化
- ・ 日米欧に見る企業倫理感の相違点
- ・ 現代の社会問題と企業(倫理)のあり方
- ・ 遺伝子組み換えに伴う企業倫理
- ・ グローバル化「企業倫理の動向と変革」
- ・ 企業のコンプライアンス・ガバナンス
- ・ 企業の危機管理・環境対応
- ・ 企業倫理とホリスティックなマネジメント・システムの重要性
- ・ 企業倫理の根源と根本的な対応策
- ・ 企業倫理とグローバル化による弊害
- ・ 企業倫理と哲学
- ・ 企業倫理と個人の生活信条
- ・ 金融資本主義と自然資本主義
- ・ グローバル化の功罪
 - － 環境破壊と地域社会の崩壊
- ・ バイオミミクリを企業から社会へ
 - － 生物の形態から学んだ「製品・商品」
 - － 生物の成果物に学んだ「製品・商品」
 - － 生物から学ぶ「人間の社会システム」
- ・ CSRの発展とGreen Washing化
- ・ 宗教/哲学と企業倫理との関係
- ・ 自然/社会あつての企業と企業倫理
- ・ マスコミ/社会の風潮と企業倫理
- ・ 遺伝子組み換えに見る国策と社会変化

環境倫理とCSR





主要著書

『CSR入門』(日経文庫)
『進化するCSR』(JIPMS)
『次世代CSRとESD』共著

ブレコン9年
生物多様性・
生態系を重視
したCSR推進

IBM勤務33年

日本IBM 本社 & 研究所(9年)
IBM Corporate Finance(14年)
日本IBM環境/CSR部門(10年)

自由民主党
「環境と社会に関する
勉強会」委員歴任

「宗教・環境研究者
エコイニシアティブ」
副代表

環境経営学会
理事

アメリカ
環境・CSR調査研究
2009年6月、2010年3月

イギリス
環境・CSR調査研究
2008年2~3月

英国・米国
企業/NPO
との連携

シューマツハ
カレッジ(英国)
短期留学

東北大学・大学院
環境科学研究科
「CSR戦略論」

首都大学東京・大学院
社会科学研究科
「企業倫理論」「CSR持論」

立教大学
ESD研究センター
「ESD/CSR推進」
2008年4月~2012年3月

岡本 享二 (おかもと きょうじ)

“Designing for Sustainability”

Bremen Consulting Co.,Ltd